

### 36年度予算の内訳

町税	23.0	1.251	歳入 54.344
地方交付税	60.0	3.264	
分相金及買相金	1.8	95	
使用料手数料	3.1	167	
国庫支出金	9.6	524	
県支出金	1.9	103	
雑収入	0.5	27	
議会費	2.8	151	
役場費	21.0	1,141	
消防費	1.1	63	
土木費	12.5	679	歳出 54.344
教育費	13.4	729	
社会福祉施設費	7.0	381	
保健衛生費	2.1	117	
産業経済費	2.7	149	
賦産費	1.0	56	
統計調査費		1	
選挙費	0.1	5	
公債費	27.1	1,478	
諸支出金	1.4	76	
赤字解消額	7.3	395	
予備費	0.4	20	

## ことしの豫算

三月定例町議会は、三月十一日開かれ、二十三日午前十時議案を原案より可決し閉会しました。昭和三十六年度予算は一般会計計七千七百一十一万一千九百九十九円、国民健康保険特別会計計二千六百九十九万九千九百九十九円、計九千四百一十一万九千九百九十九円、国保会計計三十九万九千九百九十九円、計九千四百五十一万九千九百九十九円、の増加となっております。また、三十六年度設計書も、いよいよこの予算を特集し、あらましを見ていきたいと思います。

註一 本年予算総額七千七百一十一万九千九百九十九円、前年度より増加した。これは、一般会計計七千七百一十一万九千九百九十九円、国民健康保険特別会計計二千六百九十九万九千九百九十九円、計九千四百一十一万九千九百九十九円、国保会計計三十九万九千九百九十九円、計九千四百五十一万九千九百九十九円、の増加となっております。また、三十六年度設計書も、いよいよこの予算を特集し、あらましを見ていきたいと思います。

#### 5月の税金

町民税	六三万円
保険税	三八一万円
固定資産税	一五一万円

納期 5月末日まで

議案費 一五一万円  
 役場費 一一四一万円  
 土木費 六七九万円  
 教育費 七二九万円  
 社会費 三八一万円  
 保健衛生費 一一七万円  
 産業経済費 一四九万円  
 財産費 五六万円  
 統計調査費 一万円  
 選挙費 五万円  
 諸支出金 七六万円

消防費 六三万円  
 土木費 六七九万円  
 教育費 七二九万円  
 社会費 三八一万円  
 保健衛生費 一一七万円  
 産業経済費 一四九万円  
 財産費 五六万円  
 統計調査費 一万円  
 選挙費 五万円  
 諸支出金 七六万円

### 国民年金

改正 一部 提出制の国民年金をかけた人が死亡した場合は、四月一日から保険料の納付が開始される。その額は、死亡した人の国民年金の納付額に相当する額となる。これは、死亡した人の国民年金の納付額に相当する額となる。これは、死亡した人の国民年金の納付額に相当する額となる。

### 四月から保険料を納付 かけ捨てなど合理化へ

年以内の保険料(三年のうち二年六月以内のかけ捨て)を除く場合は、納付額に相当する額となる。これは、死亡した人の国民年金の納付額に相当する額となる。これは、死亡した人の国民年金の納付額に相当する額となる。

国民年金の納付額は、死亡した人の国民年金の納付額に相当する額となる。これは、死亡した人の国民年金の納付額に相当する額となる。これは、死亡した人の国民年金の納付額に相当する額となる。

### 心配ごと相談所開設

私達は互いに幸福になりたい。衣、食、住に関するもの、家庭問題、生活に関するもの、内職に関するもの、長兄児童に関するもの、里親に関するもの、家庭環境に関するものなど。

心配ごと相談所開設の趣旨は、生活に関するもの、家庭問題、生活に関するもの、内職に関するもの、長兄児童に関するもの、里親に関するもの、家庭環境に関するものなど。

習字

万葉古 今集

町見申三年 渡辺 喜和 (須賀)

万葉古 今集

町見申三年 山口 安彦 (四)



ぼくらの作品
九町小学校一年
いなだとしひこ
がんばりつ
したこと

訂正
昭和三十六年一月一日発
行の成人者欄大誤中出明
とあるは中証明の誤につ
き訂正いたします。

町の日誌

- 1月15日 成人式挙行 役場の二階で成人式がおこなわれました成人になられた方は146名です
2月13日 臨時町議会開く 簡易下水道施設事業充当初債、町長の専決処分事項の報告、伊方町火葬場の設置および管理に関する条例の制定、火葬場使用料条例の制定、職員給与に関する条例、単純な労務に雇用される職員の給与の種類および基準を定める条例制定特別職の職員の給与に関する条例制定伊方町議会事務局設置条例制定などが上程され全議案を賛成どおり可決し会期1日間で閉会した
火葬場の使用料については死屍1体につき1000円死胎1体につき500円
又議事事務局設置による局長には岩井正氏を決定しました
2月25日 民生委員会が開かれた主な議題は心配ごと相談所の開設による運営の問題について協議しました
3月23日 定例町議会召集 伊方町財政再建計画の変更、非常勤職員の報酬に関する条例制定、昭和36年度伊方町一般会計歳入歳出予算、国民健康保険特別会計歳入歳出予算、伊方町下水道特別会計歳入歳出予算など上程され全議案を原案どおり可決しました
3月29日 酒の品評会開く 西守和郎醸造従業者組合の主催で白蘭地品評会が開催された出品点数257点で入賞は次のとおりです
優等1位 杜氏氏名 福井 東
優等2位 杜氏氏名 清家 一俊
優等3位 杜氏氏名宮崎市右工門
4月1日 消防団出初式 伊方町消防団の出初式が挙行され団長以下452名が参加しました
当日伊方町消防団長阿部森雄氏が日本消防協会長より表彰をうけた
4月1日 春の赤ちやん健康診査会表彰式 3月31日町見地区診査4月1日伊方地区診査を行ない引き続き表彰式が行なわれました。こんどの診査会は35年1月から35年6月までに生れた赤ちやんで町内の対象者は104人で参加したのは68人その内発育良好と認められたものが37人でした
尚那の診査会には次の6人が推せんされました
大黒 実 長男英雄くん
大 辰 小崎貞雄長女美代子ちゃん
兼ノ浦 田辺真一郎長女史子ちゃん
河 内 菊池 通 長男徹也くん
渡 浦 大塚 昇 二女仁美ちゃん
渡 二 見 大野照敏 長男信幸くん
又那の診査会で成績良好で県の診査会に参加した人は次の2人です
淡 浦 菊池 通 長男徹也くん
大 辰 大黒 実 長男英雄くん

昭和36年 4月 1日現在

世帯数 2,593

人

人口 12,435 (男 6,102 / 女 6,333)

婚姻

出生 (十一月分)

出生 (二月分)

死亡 (十一月分)